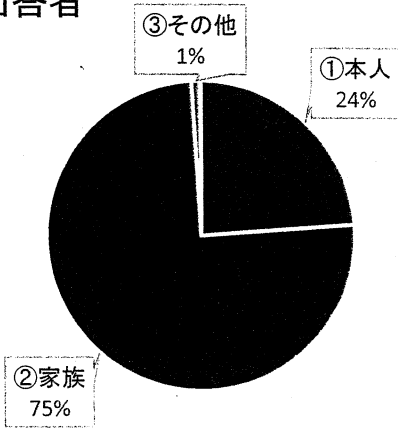


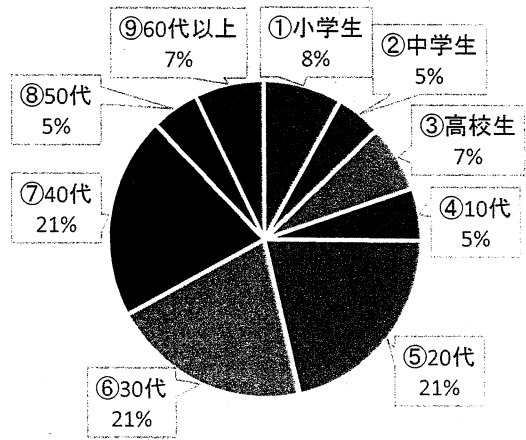
緊急時対応についてのアンケート

1 回答者			2 障害のある方の年齢									3 障がい種別				4 同居人									
① 本人	② 家族	③ その他	① 小学生	② 中学生	③ 高校生	④ 10代	⑤ 20代	⑥ 30代	⑦ 40代	⑧ 50代	⑨ 60代以上	① 身体	② 知的	③ 精神	④ その他	① 父	② 母	③ 兄	④ 弟	⑤ 姉	⑥ 妹	⑦ 祖父	⑧ 祖母	⑨ その他	一人暮らし
75	237	3	26	15	22	17	68	66	66	16	23	71	208	72	209	245	32	55	30	39	12	21	9	33	

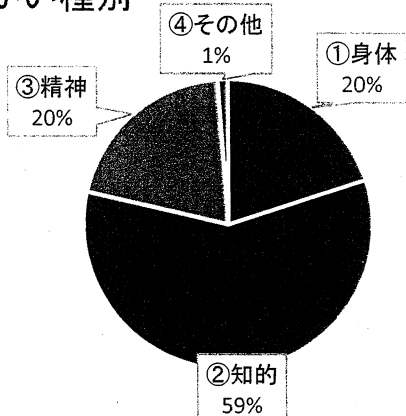
1 回答者



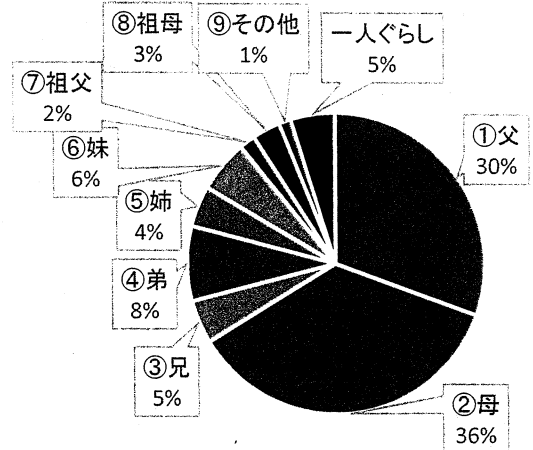
2 障害のある方の年齢



3 障がい種別



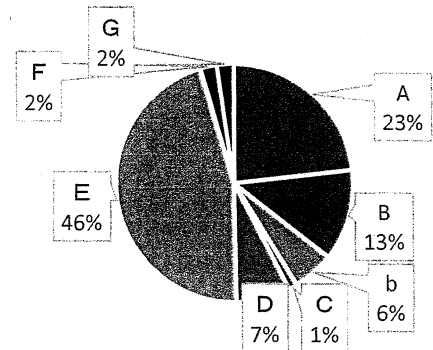
4 同居人



5 今までにあった「困った。」「緊急だった。」こと

A	41	介護者がけが、病気となり、介護できなくなった
B	32	家族がけがや病気などで介護が必要となり、介護できなくなった
b	10	Bの中で子ども(18歳未満)が病気などで介護が必要となった
C	2	介護者が急な仕事などで介護できなくなった
D	13	冠婚葬祭など同居でない親戚に関わる所用で、介護できなくなっ
E	81	本人が病気、けが、発作など不調になった
F	4	気象警報や感染症により、通所、通学ができず介護が必要となっ
G	4	個別の課題があるケース
計	177	

5 緊急事態分類(Bはbを含まない)

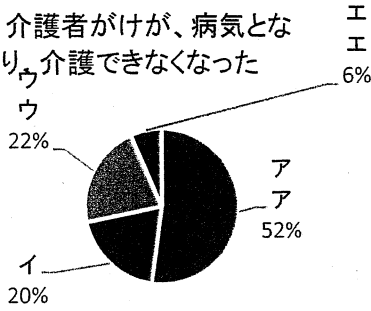


# 緊急時分類と対応分類(家族等の理由により、緊急対応が必要になった場合)

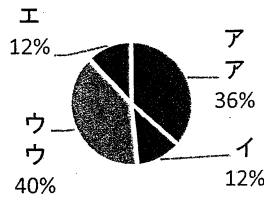
対応		ア	イ	ウ	エ	合計
A	介護者がけが、病気となり、介護できなくなった	24	9	10	3	46
B	家族がけがや病気などで介護が必要となり、介護できなくなった	12	4	13	4	33
b	Bの中で子ども(18歳未満)病気などで介護が必要になった	5		4	1	10
C	介護者が急な仕事などで介護できなくなった	1			1	2
D	冠婚葬祭など同居でない親戚に関わる所用で、介護できなくなった	3	3	8		14
合計(Bはbも含むので、合計にbはふくみません)		40	16	31	8	95

対応分類	
ア	家族の努力ですごした
イ	事業所や関係機関の支援を受けた
ウ	何もできずすごした
エ	その他(近所の人に助けってもらった。知人の世話になったなど)

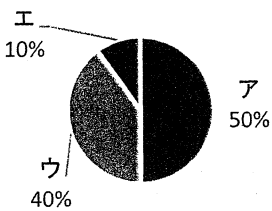
A 介護者がけが、病気となり、介護できなくなった



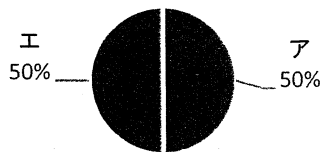
B 家族が病気などで介護が必要となり介護できなくなった



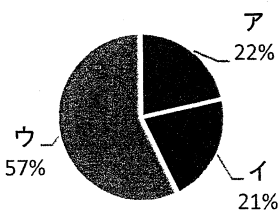
b 子ども(18歳未満)病気などで介護が必要となり、介護できなくなった



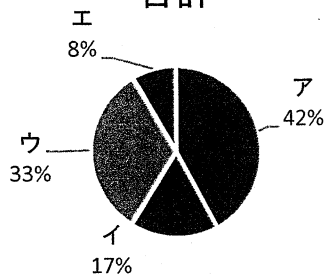
D 介護者が仕事などで介護できなくなった



E 親戚に関わる所用で、介護できなくなった



合計



## グループワークで出された意見

◎緊急時にどこに相談をするか。基本は市町に連絡をするということを知っているか、子どもなら児童相談所に相談するなど、相談場所がほしい。

◎緊急連絡先の確保等の準備があると困り感が軽減される。24時間電話を受け付けてくれる所があればよいが、頭が真っ白になったときに相談して、落ち着かせてくれる所が、公的でも私的でも良いので欲しい。私的な社会資源として、近所つきあいも大切である。

◎家族が病気で本人が一人になる時、本人の安全確保が必要になる。支援者がほしい。施設云々ではなく、とりあえず一晩、一日の見守り、一緒に過ごす人がほしい